

見える。
つなぐ。
ヤマハ。

2024年2月発売予定

無線LANアクセスポイント **NEW**

WLX323

希望小売価格(税抜) 105,000円

Wi-Fi 6E 2,402Mbps 2.5GbE/PoE+ 最大270台 トライバンド

WLX322

希望小売価格(税抜) 85,000円

Wi-Fi 6 2,402Mbps 2.5GbE/PoE+ 最大170台 デュアルバンド

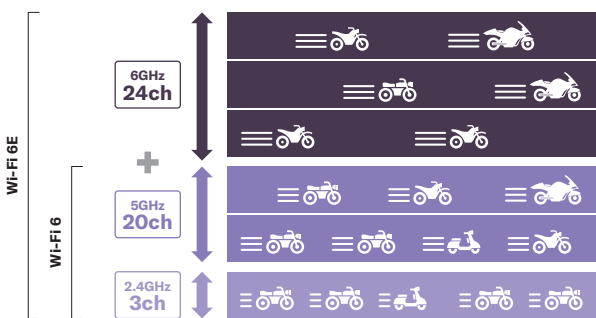


快適な無線通信のための機能を強化

Wi-Fi 6/6E対応ミドルレンジモデル

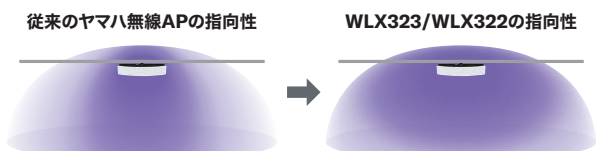
6GHz帯の利用で、快適な通信を実現 (WLX323)

『WLX323』は、Wi-Fi 6Eに対応しており、2.4GHz帯と5GHz帯に加えて、新たに6GHz帯の周波数を利用できます。6GHz帯は広い周波数帯を利用できるため、高速で安定した通信が確保されます。さらに6GHz帯はDFSの制約を受けずに利用できるため、通信の安定性が向上します。これにより、電波干渉や混雑を回避した快適な通信を実現します。



天井設置環境に適したアンテナの指向性に対応 広いエリアで強い電波を提供

従来のモデルからアンテナの指向性を見直しました。これまで天井設置環境で強い電波が届かなかったエリアへも、広く強い電波を提供します。また、同梱のマウントパネルにより、天井設置だけでなく、壁や卓上への設置も簡単にできます。



天井設置環境でより快適な通信を実現できる指向性に変更

DFSを回避して5GHz帯をより使いやすく「Fast DFS v2」

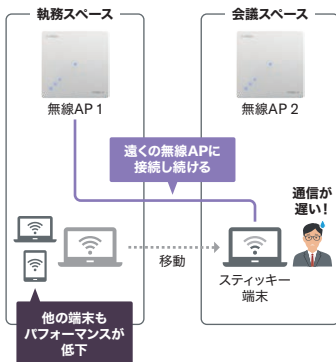
- 無線APの性能を落とさずに、DFSによる1分間の停止を回避
DFSの影響を回避する機能「Fast DFS v2」は、その機能を有効にするために片方の無線モジュールを占有する必要があります。そのため、『WLX323』のトライバンドの接続端末台数(270台)を最大限活用できます。『WLX322』は、デュアルバンドモデルでありながらDFSの影響を回避できます。
- DFSの影響を回避して、5GHz帯の多チャンネルを利用可能
DFSの影響を回避するためにチャンネル数の少ないW52を使っていた場合でも、本機能によってDFSの影響を回避することで、チャンネル数の多いW53/W56を選択可能です。これにより、安定かつ高速な通信が実現できます。

移動しても快適な通信を実現「適応型ローミングアシスト機能」

移動などで電波強度が弱いにも関わらず、遠くの無線APに接続し続けてローミングしない無線端末(スティッキー端末)に対し、近くの無線APへのローミングを促します(特許出願済み)。本機能により適切にローミングを行うことで、無線LAN環境全体のパフォーマンスが改善され、快適な通信を維持することができます。

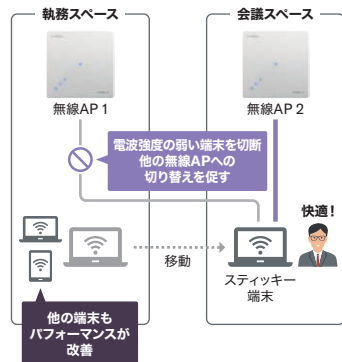
適応型ローミングアシスト機能なし

移動しても遠くの無線APに接続し続けることで、電波強度が弱くなり、通信不具合が発生する。さらに、他の端末もパフォーマンスが低下。



適応型ローミングアシスト機能あり

電波強度に応じて、最適な無線APへの切り替えを促す。パフォーマンスも十分確保でき、快適な通信を維持。

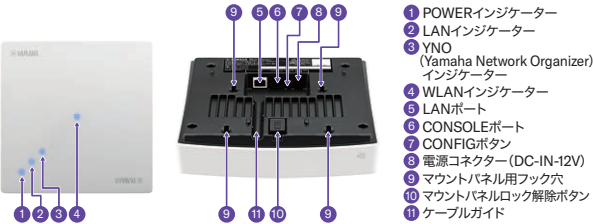


WLX323/WLX322仕様表

項目		WLX323	WLX322
インターフェイス	LANポート	1ポート(100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T、ストレート/クロス自動判別)	
	コンソールポート(設定用)	1ポート(RJ-45) (※3)	
	USBポート	—	
メモリー	Flash ROM	4GB eMMC+16MB(ファームウェア:1組、コンフィグ:1組)	
	RAM	1GB	
無線	アンテナ	2.4GHz/5GHz(1) 共用アンテナ2本、5GHz(1) アンテナ2本、5GHz(2)/6GHz共用アンテナ2本、合計6本を本体に内蔵	2.4GHz/5GHz共用アンテナ2本、5GHzアンテナ2本、合計4本を本体に内蔵
	MIMO方式	5GHz(1): MIMO(4x4、4ストリーム)、MU-MIMO(最大3ユーザー) 5GHz(2)/6GHz: MIMO(2x2、2ストリーム)、MU-MIMO(最大2ユーザー) 2.4GHz: MIMO(2x2、2ストリーム)	5GHz: MIMO(4x4、4ストリーム)、MU-MIMO(最大3ユーザー) 2.4GHz: MIMO(2x2、2ストリーム)
	2.4GHz帯 無線LAN規格	IEEE 802.11b/g/n/ax(最大伝送速度574Mbps)	
	5GHz帯 無線LAN規格	IEEE 802.11a/n/ac/ax(最大伝送速度2,402Mbps) 5GHz(1)のみ	IEEE 802.11a/n/ac/ax(最大伝送速度2,402Mbps)
	6GHz帯 無線LAN規格	IEEE 802.11ax(最大伝送速度2,402Mbps)	—
	同時利用可能周波数帯	2.4GHz/5GHz/6GHz	2.4GHz/5GHz
	5GHz帯対応周波数帯	W52/W53/W56(144ch対応)	
	アクセス方式	インフラストラクチャーモード、WDSリピーターモード、WDSブリッジモード	インフラストラクチャーモード、WDSリピーターモード
	接続端末数	5GHz帯(1): 最大100台、5GHz帯(2)/6GHz帯: 最大100台、2.4GHz帯: 最大70台、合計270台	5GHz帯: 最大100台、2.4GHz帯: 最大70台、合計170台
	認証方式	オープン、Enhanced Open、WPA/WPA2/WPA3パーソナル、WPA/WPA2/WPA3エンタープライズ	
セキュリティ	暗号化方式	CCMP(AES)、TKIP、192-bitセキュリティモード(※4)	
	マルチSSID	6GHz帯: 最大8個、5GHz帯: 最大8個、2.4GHz帯: 最大16個	5GHz帯: 最大8個、2.4GHz帯: 最大8個、合計16個
	セキュリティ機能	AP間プライバシーセパレーター、Any接続拒否、MACアドレスフィルタリング(1VAPあたり最大256件)、パスワード設定、接続台数制限、送信出力調整機能、ステルス SSID、MAC認証機能	
LAN	タグVLAN(IEEE 802.1Q)	○	
	LAN機能	—	
管理/設定	管理プロトコル	SNMP(v1/v2c/v3)	
	ファームウェアの更新	TFTPからのリビジョンアップ、Web GUIからのHTTPまたはローカルファイル指定によるリビジョンアップ/リビジョンダウン、YNOからのリビジョンアップ	
	内蔵RADIUS サーバー	最大1,000件、EAP-PEAP(MSCHAPv2)、EAP-TLS、MACアドレス/接続SSID制限対応	
	外部RADIUSサーバー対応(IEEE 802.1X EAP認証)	EAP-TLS、EAP-TTLS/Mschapv2、PEAPv0/EAP-MSCHAPv2、PEAPv1/EAP-GTC、EAP-SIM、EAP-AKA、EAP-AKA Prime、EAP-FAST	
	クライアント証明書の発行	○(※オペレミス動作時のみ)	
	ロギング機能	メモリーに蓄積(50,000件)、SYSLOGでの出力	
	設定手段	コンソール、TELNET、Web 設定画面、Web設定画面(HTTP/TFTP によるダウンロード/アップロード、ヤマハルーターのWeb GUI/コマンドによるバックアップ、YNO	
	GUIの推奨ブラウザ(※1)	Windows: Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox / macOS: Safari / iPadOS: Safari	
	機能	QoS(WMM[Wi-Fi Multimedia])、DHCPクライアント、DHCPサーバー、メール通知機能、NTPクライアント	
	L2MSエージェント(※2)	L2MSマネージャー(※5)のWeb GUI/コマンドによる設定/状態表示/管理、ネットワーク構成表示、コンフィグの保存/復元、ゼロコンフィグ機能	
ハードウェア	拡張機能	Radio Optimization機能、無線の見える化ツール、クラウド型管理サービス(YNO) 対応(最大1年の無償ライセンス付き)、クラスター管理機能(管理可能台数は最大128台、スタンダードローンモード対応)(※6)、範囲指定型自動チャンネル選択機能、自動チャンネル変更機能、電波出力自動調整機能、LAN-無線連動機能、無線通信平滑機能(エアタイムイコライザー)、バンドステアリング機能、接続台数自動分散(ロードバランス)機能(WLX323のみ)、災害時モード切替機能、キャプティブポート機能、かんたん接続QRコード生成機能、VAPグループ機能、Fast DFS v2機能、適応型ローミングアシスト機能	
	状態表示インジケータ	天面: 4(POWER、LAN、YNO、WLAN) ※消灯機能付き	
	動作環境条件	周囲温度0~50℃、周囲湿度15~80%(結露しないこと)	
	最大消費電力	19W	16W
	最大消費電流	電源アダプター: AC100V(50/60Hz) 1.4A(※7)、PoE(IEEE 802.3at準拠): DC36~57V 0.34A	電源アダプター: AC100V(50/60Hz) 1.1A(※7)、PoE(IEEE 802.3at準拠): DC36~57V 0.28A
	発熱量	68.4kJ/h	57.6kJ/h
	筐体	上面: プラスチック、底面: アルミダイキャスト、ファンレス	
	電波障害規格、環境負荷物質管理	VCCIクラスA、RoHS対応	
	外形寸法	210(W) x 53(H) x 210(D) mm(突起部含まず) ※天井設置、壁掛け、卓上スタンド設置、VESA規格スタンド取付けが可能	
	質量	本体1.2kg(付属品含まず)、マウントパネル130g、スタンド15g、ケーブルチューブ3g、電源アダプター(別売)300g	
オプション	付属品	はじめにお読みください(保証書含む)、マウントパネル、スタンド(ネジ1本含む)、ケーブルチューブ	
	オプション	電源アダプター(YPS-12V3A)、PoEインジケータ(YPS-PoE-AT)、RJ-45コンソールケーブル(YRC-RJ45C)	
	デフォルト IP アドレス	DHCP自動取得 ※取得失敗時は192.168.100.240/24	

(※1) ブラウザーのバージョンは、最新バージョンにしてご利用いただくことを推奨します。また、最新のWebブラウザー対応状況は、技術情報(RTpro)サイトにて公開しております。(※2) L2MS(Layer2 Management Service)は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2レベルで管理する機能です。(※3) 別売りのRJ-45コンソールケーブル「YRC-RJ45C」をご使用ください。(※4) WPA3エンタープライズ使用時のオプションとなります。(※5) L2MSマネージャーに対応しているルーター/ファイアウォール/スイッチが別途必要です。L2MSマネージャー対応機種は、技術情報(RTpro)サイトにて公開しております。(※6) クラスター管理機能は、同じL2ネットワークに接続されている複数台の無線LANアクセスポイントを一元管理するためのシステムです。詳細は、技術情報(Rtpro)サイトにて公開しております。(※7) 必ず別売りの電源アダプター「YPS-12V3A」をご使用ください。

各部名称 (WLX323/WLX322共通)



関連オプション/製品

電源アダプター
YPS-12V3A

PoEインジケータ
YPS-PoE-AT

RJ-45コンソールケーブル
YRC-RJ45C

スマートL2 PoEスイッチ
SWX2221P-10NT/SWX2220P-18NT/SWX2220P-26NT

本製品は、電源アダプターを同梱しておりません。利用環境に合わせた電源をご用意ください。
●電源アダプターをご使用の場合は、YPS-12V3A(別売)をご利用ください。
●PoEをご使用の場合は、YPS-PoE-AT(別売)またはヤマハPoEスイッチ(別売)をご利用ください。

安全に関するご注意 ● 本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

●本製品の日本国外での使用については一切のサポート、保証をしております。●このカタログの記載内容は2024年1月現在のものです。●仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。●価格には本体設置費用は含まれておりません。●本カタログに記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標あるいは商標です。

ヤマハネットワーク製品お客様相談センター

■お電話によるお問い合わせ先 ☎ **03-5651-1330** ■FAXによるお問い合わせ先 ☎ **053-460-3489**

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

◎ヤマハネットワーク機器に関する詳細な情報はホームページをご覧ください。 <https://network.yamaha.com/>

お問い合わせ先



ヤマハ株式会社
〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1
2024年1月作成

カタログコード MWLX32301